



世界で活躍するペインター

ふじた さとし
藤田 智さん(DRAGON76)



ます。スタイルは常に進化し、過去と未来や、静と動、正義と悪など相反するものの共存をテーマに作品を生み出しています。

蒲生氏郷公の絵に込めた思い

今に伝わっている個性的で洗練された兜や鎧、マントからすごく美意識の高い人物と想像しました。

またキリシタンであった事から、新しい考え方や物事を積極的に取り入れていく柔軟さや色んな逸話から、人々に寛大で自分に厳しい人物像をイメージして描きました。

自分の作品もいろんな国の文化を取り入れ、それを自分なりの『和』のイメージと共存させる事で新しいものを生み出そうと試みているので、すごくシンクワする部分がありました。

日野の自然の中で作品づくり

高校卒業後から県外に移り、20年ぶりにまた日野で2年間過ごしてみても、日野町の古い町並みや、祭り、伝統、風習などの素晴らしさを改めて感じました。一度日野を離れたからこそ感じる魅力が多々あります。その2年の間で子どもと一緒に日野ひなまつり紀行や日野祭、氏郷まつりなど、日野のイベントに参加して人の温かさにも触れました。その素晴

今年の2月27日より、町営路線バスの1台が装い新たにラッピングされ、町内を走っています。今回、ラッピングバスの蒲生氏郷公を描かれたのは、日野町出身のペインター(画家)である藤田智さん(DRAGON76)。即興で線り広げられるダイナミックなライブペインティングは、世界中からもオファーが絶えず、多くの人を魅了しています。

現在はアメリカのニューヨークを拠点に活躍されている藤田さん。ラッピングバスに描かれた作品への思いやふるさと日野町について伺いました。

絵を描き始めたきっかけ

描かれている作品について

幼少の頃から絵を描くのが好きで、今もその延長です。高校卒業後、大阪の美術専門学校へ通いながら友だち、知人からイベントのフライヤーやCDジャケットのデザイン等

を頼まれ、自然な流れでペインターとして活動しています。

ストーリーターを基本とし、情熱的で生命力溢れるタッチで見る者の魂に触れるような作品をめがけて



らしい財産をたくさんの人に見てもらいたいし、この先も繋げていかなければならないと思います。昨年ニューヨークに移住しましたが、またいつかは日野に戻り綿向山を眺めながら自然の中で作品づくりをしたいと思っています。



◀▲DRAGON76さんの
思いがこもった
ラッピングバス



100歳おめでとうございます

お体を大切に、
いつまでもお元気でいてください。

みつだちずえ
満田千鶴枝さん(西大路2区)



2月2日に西大路の満田千鶴枝さんが100歳のお誕生日を迎えられ、同月14日に町長をはじめ関係者がお祝いに伺いました。

満田さんは、杉から教専寺きょうせんじに嫁がれ、坊守ぼうもりとしてお寺を守りながら5人のお子さんを育てられました。

現在はされていませんが、以前は家族のために野菜づくりを熱心にされていたそうです。

お寺を守ることに苦労もあつたそうですが、朗らかに生きてきたと優しい笑顔でお話いただきました。

日野町消防団 谷口団長が消防功労者消防庁長官表彰を受章

日野町消防団の谷口登団長たけのひらみがこの度、消防功労者消防庁長官表彰(永年勤続功労章)を受章されました。この表彰は、長年にわたり消防団活動に励み、地域住民からの信頼が厚く、模範となる顕著な功績をあげられた方に贈られるもので、消防においては、勲章・褒章等の栄典に準ずる、最も名誉ある表彰のひとつです。



谷口団長は、平成3年に入団されて以来、25年にわたる精力的な活動が認められ、表彰を受章されました。これからも日野町の安全・安心の『かなめ』として、引き続きご活躍を賜りますようお願いいたします。

日野町防災センター(役場庁舎別館) 改築工事が完了しました

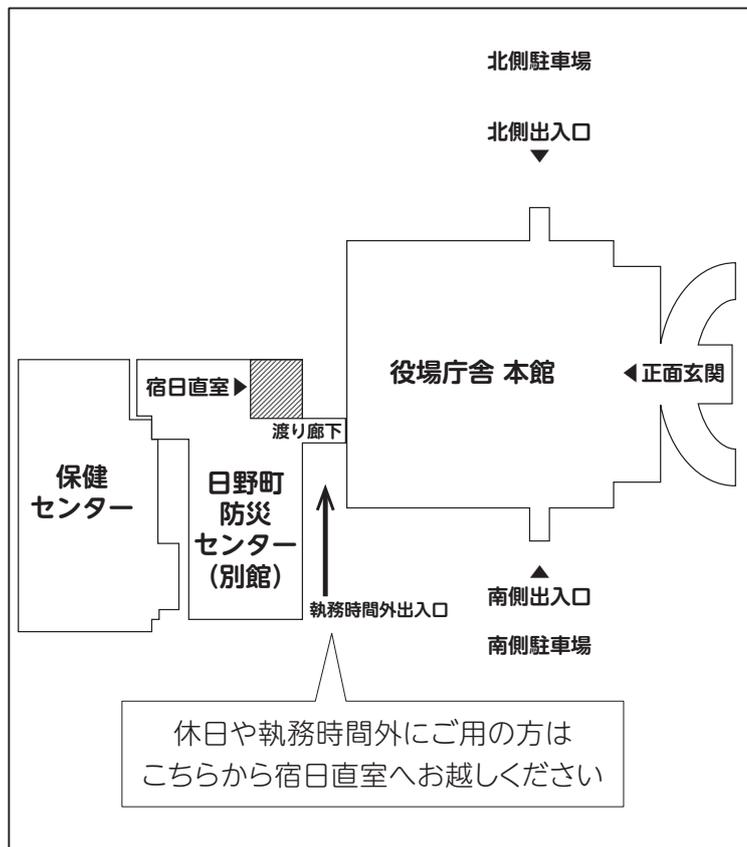
昨年の6月から防災機能を強化するため実施してまいりました日野町防災センター(役場庁舎別館)の改築工事が3月をもって完了しました。

これは、災害発生時等に備えて、非常用食糧等の備蓄倉庫や水防資材倉庫等を集約し整備したもので、太陽光発電設備も整備しました。

執務時間外の出入口は渡り廊下からとなり、防災センター1階に宿日直室があります。

また全面使用禁止にいたしました庁舎南側駐車場もご利用いただけます。

工事期間中は来庁者の皆さんにはご不便をお掛けいたしました。



問い合わせ先 ◆ 総務課財政担当 ☎0748-52-6500